

ロジックスライン

事故撲滅へ組織風土形成

安全講習 3年ぶり全社員参加

【千葉】ロジックスライン（沢田秀明社長、千葉県成田市）は3年ぶりに全社員参加の安全講習会を開催し、社内で増加している構内事故撲滅に向け、安全会議の森川美希社長の講演を聴いた。講習前には本社周辺でゴミゼロ運動として、3グループに分かれてゴミ収集も実施した。

安全組織マネジメントコンサルタントである森川氏は「安全活動を活性化するためのコミュニケーションをテーマに講師を務めた。「人間はミスを起こすという特性がある。その前提で個人と組織が安全に取り組み、その活動から組織風土が生まれる」と指摘。安全に根ざした組織風土を形成するために、どのような対人

関係、組織での取り組みが求められるかを解説した。全ドライバーに運転適性診断の受診票を配布。リーダーチャートの読み方を説明し、「自分の交通事故の傾向を読み取って欲しい。それに対応した運転をすることで、事故を防止することが可能になる」と述べた。更に、構内事故のパターンを示し、「指差呼称で安全を確認して行動することで、事故防止の意識付けが図れる」と説明した。

沢田社長は「後進時に降車して指差呼称で確認すれば、事故防止の効果は大きい。常時行うのは難しいと思うが、可能な範囲で各自、励行して欲しい」と要請した。

今後の業務について「我々のメイン貨物である航空貨物は、上海のロックダウン（都市封鎖）解除以降、荷量が急増すると予測される。こうした急変に備えて体調管理を進め、万全に業務に臨もう」と呼び掛けた。

最後に社員代表の音頭で、指差呼称を実施。社員全員で「ヨシ！」の掛け声とともに、前後左右を指差して安全確認を行った。

（佐々木健）

全社員で指差呼称による安全確認を行う

